

交通安全を願い看板設置

松浦地区交通安全協会福島支部（本川浩二支部長）が1月30日、福島公民館前に交通安全啓発用の看板を設置し、除幕式を行いました。

この看板は、福島町塩浜免で起きた交通死亡事故をきっかけとして、悲惨な死亡事故を撲滅しようと設置されたもの。この日は、松浦警察署や地元住民が見守る中、児童生徒の交通安全を願う標語の入選作品を掲げた看板が初めて披露されました。



歌や踊り、楽器演奏を披露

志佐小学校と同校PTA主催の「第19回ふれあいコンサート」が1月31日、文化会館で開催されました。

同コンサートは、児童の学習の成果の発表と保護者や地域との交流を目的に毎年開催しているものです。

今回は「みんなつながるココロのオト」をテーマに、各学年ごとに歌や踊り、先生たちによるがんばらば体操、松浦高校・志佐中学校吹奏楽部の演奏などが披露され、会場に集まった児童や保護者、地域の人など約1300人から大きな拍手が送られていました。



弥生時代の竪穴式住居跡発見

西九州自動車道の建設に伴い、埋蔵文化財の発掘調査が進められている今福町の中ノ瀬遺跡で1月31日、住民などに遺跡の概要を説明する現地説明会が行われました。

同遺跡では、円形に掘った穴（最大のものは直径約7m）に柱を立て屋根を掛ける弥生時代の竪穴式住居跡3基、中世から近世までの地面を掘った墓穴7基、縄文時代の土器や石器など約1万点が出土。弥生時代の住居跡の発見は県北地区で5例目、市内で初めてのものです。発掘調査は3月まで行われ、さらに下層の縄文時代などの古い年代のものがいないかを調査します。



平戸法人会が租税教室

平戸法人会（倉田友路会長）が1月19日、御厨小学校で租税教室を行いました。

会員自らが経営者と納税者の立場から講師となり、子どもたちに税の大切さを理解してもらおうと企画されたもの。この日は同会松浦支部の小松英史支部長が講師を務め、税の種類や小学生1人当たり年間約83万円の教育費が税金で賄われていることなどを説明。その後、税金がなくなった世界を仮定したビデオを放映し、税がないと困ることや納税の大切さを伝えました。浜崎琴海さんと松本大貴君は「税の種類^{ことみ}の多さに驚きました。納税の大切さも分かりました」とお礼のあいさつを述べました。



まちの話題

勇壮、瑞宝太鼓^{すいほう}

雲仙市を拠点に活動する瑞宝太鼓松浦公演2010「結」が1月30日、文化会館で行われました。

瑞宝太鼓は、奏者が知的ハンディを持ちながら、和太鼓奏者のプロとして全国各地、海外でも活躍。今回、これまで多くの人に育ててもらった感謝の気持ちと経験の成果を太鼓の響きに込めて、たくさんの人に届けようと企画されたものです。この日は、松浦高校吹奏楽部の演奏と太鼓の共演や、観客の拍手に合わせた太鼓演奏など、会場に集まった約400人の観客は、力強い太鼓の音色に聞き入っていました。





市PTA連合会が研究大会

松浦市PTA連合会（下久保直人会長）研究大会が2月7日、文化会館で開催されました。

子どもたちの健やかな成長を目指して毎年開催。今年は、「元気な一歩！子どもに示そう親の背中」をスローガンに掲げ開催されました。第1部と第2部で構成され、第1部では、NPO法人「子どもとメディア」の古野陽一常務理事をコーディネーターに「メディア問題から松浦っ子の今を考える」と題した具体的事例に基づくパネルディスカッションがありました。第2部では、「子どもを守る親子の対話！～メディアとの上手な付き合い方～」と題して同常務理事による講演が行われました。

大会に参加した市内の小中学生の保護者など約500人は、子どもを取り巻くメディア環境の現状と安全かつ安心にメディアを利用する方法を学びました。

卒業記念に壁画を作成

御厨小学校6年生35人が2月10日、御厨町池田地区の遊歩道沿いの防波堤に卒業記念の壁画を完成させました。

遊歩道の植栽などの整備をしている池田寿禄会（小橋川時雄会長）が、子どもたちにふるさとを大切にすることを育てようと呼び掛け、同小児童が毎年卒業記念に壁画を作成しており、今年で10回目。この日児童は、「絆」をテーマに、1枚は6年間の楽しかった思い出を音符で表現、もう1枚は卒業をイメージして桜並木と校舎を描きました。それぞれ縦約1m、横約3.5mの壁画を約2時間かけて完成させました。

壁画作成に参加した森啓寿くんは「卒業の良い思い出

出ができました。細かいところを筆で書くところが難しかったです。また20歳になったときにみんなで絵を見に集まりたいです」と話していました。



葉タバコの種まき

松浦葉たばこ生産組合（久保川一組合長）が2月1日、御厨町の組合共同育苗ハウスで葉タバコの種まきを行いました。

種まきには、同組合員や江迎町・鹿町町の生産農家約20人が参加。1m²以下の小さな種を水に混ぜ、500平方mのハウスに敷き詰められた苗箱にじょうろでまいていきました。まかれた種は、20日程度育苗した後、組合員がそれぞれ持ち帰り栽培ポットに移植。3月中旬に畑に定植し、5月中旬から収穫する予定です。



福っ娘、福男が豆まき

今福神社の節分祭が2月3日、同神社境内で行われ、福っ娘と福男による豆まきが行われました。

地域に残る文化の継承と、町の活性化を目的に始められたもの。この日はピンク色の羽織と袴姿の福っ娘の千葉恵里佳さん（今福・人柱、19）と法被姿の福男の下條貢司さん（今福・仲町、39）が「鬼は外！福は内！」と元気に豆をまき、集まった氏子など約50人はうれしそうに豆を拾っていました。また、この日は今福神社のほか町内3カ所で出張豆まきも行いました。



55チームがバレーボールで熱戦

第15回弥生杯小学生新人バレーボール大会が2月6日、7日の両日、文化会館など7会場で開催されました。

県内や佐賀県から、女子39チーム、男子16チームが出場（市内からは10チーム出場）。予選・決勝を各パートで行い、2日間にわたり熱戦を繰り広げました。結果は次の通りです（市内チームのみ）。

【2位パート（女子）】③青葉

【4位パート（女子）】

③大崎

③田代

【5位パート（女子）】

②新星

